

第53回中央委員会
2020春闘スタート

組合員の幸せの実現に向け 総力を挙げて要求実現に取り組もう!

1月14日に都内ホテルで中央委員56名出席のもと、第53回中央委員会を開催しました。

冒頭、松岡中央執行委員長は「生保産業、組合員を取り巻く環境はめまぐるしい変化の中にある。こういう状況だからこそ、生保労連の旗の下、生保産業で働く者の意思を結集し、懸命に取り組むことが、確かな成長へとつながっていくと確信している。生保労連として、組合員の幸せの実現に向けて懸命に取り組んでいく」と力強い決意を述べました。

また、来賓としてご臨席いただいた電機連合 野中委員長、支援議員の方々から、連帯と激励の挨拶をいただきました。

◆「総合生活改善闘争・春季方針」を決定

本中央委員会では、昨年8月の定期大会以降の活動経過を報告するとともに、「総合生活改善闘争・春季方針」を提案し、活発な議論を経て承認されました。



▲力強く語る松岡委員長



▲要求実現に向け全力で取り組むことを全員で確認

総合生活改善闘争(2020春闘の取組み) 統一取組み課題

1. 経営の健全性向上の取組み
2. 営業職員体制の発展・強化の取組み
3. 賃金関係の取組み
4. ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組み
5. 多様な人材が活躍できる環境整備に向けた取組み

◆生保労連結成50周年記念講演を開催

中央委員会終了後は、株式会社 小西美術工芸社社長 デービッド・アトキンソン氏をお招きし、生保労連結成50周年記念講演を開催しました。(講演の内容は2面で紹介しています)

生保労連は、組合員のみなさんの幸せの実現に向け、各組合とともに総合生活改善闘争を通じて諸課題の解決に向け全力で取り組んでいきます。